

論文審査の要旨
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (学 術)	氏名 Author	FU QIANQIAN (付 倩倩)
学位授与の要件	学位規則第 4 条第①・2 項該当		
論 文 題 目 Title of Dissertation An Investigation of Lower Secondary School Students' Affective Objectives Attainment in Western Rural China			
論文審査担当者 Dissertation Committee Member 主 査 Committee Chair 広島大学大学院国際協力研究科教授 吉田 和浩 印 Seal 審査委員 Committee 広島大学大学院国際協力研究科教授 清水 欽也 審査委員 Committee 広島大学大学院国際協力研究科教授 堀田 泰司 審査委員 Committee 広島大学大学院国際協力研究科准教授 櫻井 里穂 審査委員 Committee 広島大学大学院教育学研究科教授 山崎 博敏			
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review 本研究は、2001 年以降導入された中国の新カリキュラム下で教授目的の 3 つの中に位置づけられる情意目的の要因を検証し、目的の達成状況、及びそれに影響を与える要因について、中国内陸部の甘粛省農村部の中学生生徒を対象に明らかにしたものである。 論文は全 5 章から構成され、第 1 章の導入では問題意識の背景として中国新カリキュラムにおける情意目的の位置づけ、研究目的と分析枠組みを示し、第 2 章では情意領域に関する欧米での理解と中国での研究状況、質問紙考案上の問題点、増加する出稼ぎ家庭の問題、両親の養育スタイル、教室環境等に関する文献をレビューしている。第 3 章は研究対象、独自に改定した質問紙、データ分析の手法等、研究方法について論じ、第 4 章は分析結果を詳説している。まず情意目的に関する因子について探究的分析、及び検証的分析から明らかにした上で、生徒の情意目的達成状況を個人属性（ジェンダー別、学年別、両親の出稼ぎ状態別）との関係から分析。次に情意目標達成と親の養育スタイルとの関係、学級環境の影響をそれぞれ分析し、最後にこれら変数の総合的な分析を行い、それぞれの考察を加えた上で、第 5 章は結論を述べている。 本研究は生徒の強さ、人間関係、活力の 3 つの要因に係る 9 つの目的からなる情意目的達成を評価するための質問紙を開発した。全体として、感謝、独立心、誠実の達成度は高く、寛容、勇気、自信の達成度は低い。男子生徒は自信、勇気、学習意欲が、女子生徒は独立心、公平性、審美性が比較的高い。自信、独立心、誠実性などは学年が上がるに従って達成度が下がる。親の養育スタイルについては、感情的暖かさや好意は子どもの情意目的全般に肯定的に影響し、過保護、偏り、拒絶は負に影響する。親の出稼ぎ形態は大きな要因としては認められなかった。学級環境については、教師、友人との関係、競争関係が強い要因として確認された。 本論文はこれまで欠落していた中国内陸部の情意目的分析に使える定量的分析方法を示し、既往の欧米の研究とは異なる中国特有の情緒目的概念と要因、養育スタイルを明らかにした上で、養育スタイル、学級要因といった生態環境の重要性を実証的に示した独創的な研究である。 本研究の一部はこれまでに 2 編、国際ジャーナルに査読つき論文として刊行されていて、さらに 2 編の査読つき論文の投稿を予定している。 以上審査の結果、申請者は博士（学術）の学位を授与されるに十分な資格があると認められる。			